

大学生における経済状況と成績の関連性について

神内 伸晃¹⁾，渡邊 康晴²⁾

¹⁾ 保健医療学部，²⁾ 医学教育センター

近年，日本における世帯所得は減少しており，大学生においても両親からの「小遣い」，「仕送り」は，減少を示す一方，バイトによる収入が増加している．本学においても学生の経済状況を把握することは重要なことであり，学生の生活を支援する資料となる．本調査では，学生の経済状況を把握するためのアンケート調査を行い，成績との関連性を検討した．

対象は本学の保健医療学部生とした．本アンケートでは，「住まいの形態」，「仕送り・小遣い」，「バイト」，「奨学金」の有無，およびこれらの主な使い道，「バイトが学業に影響しているか」の質問を設けた．結果は，自宅からの通学者が多く，「仕送り・小遣い」は，4割の学生が「なし」という回答であった．「バイト」，「奨学金」については，「している」が8割，「受給している」が6割であった．仕送りや小遣い，バイト代の使い道の多くは「生活費」や「遊興交際費」であったのに対し，奨学金では，「学習費」であった．また，「バイトが学業に影響しているか」という質問では，「まったくない」が5割「少し影響している」が4割であった．成績との関連性について，多くの学生では成績に影響が出ないことがわかり，本調査により学生の経済状況を把握することができた．

国家試験対策のための教育支援活動の試み

水沼 国男

鍼灸学部 保健・老年鍼灸学講座

【背景及び目的】

近年，学習方法がわからない学生が増加し，学力低下から留年や退学者が増加した．また，学力不足から国家試験の合格率は，あまり良くない．本学の取り組みとして平成25年に教学委員会を設置され，学修実態・行動把握アンケート，新入生に基礎学力試験を行い，学修支援が必要な学生に学修支援を行ってきた．

また，鍼灸学部の講義の一つに経絡経穴学は，東洋医学では基礎となる科目であり国家試験では，160問中13問，それに加え他の科目とも関係が深く，約3割近い問題が経穴に関係する問題が出題されている．昨年，経絡経穴学の前年度未修得の学生全員が，国家試験が不合格であり，いままでの教育支援では十分出なかったことがわかった．3年生からの対策だけでなく，1年生からの支援活度が重要になると考える．

そこで経絡経穴学講義成績，定期試験，講義アンケート及び入学試験形態，入学時の基礎学力試験，国家試験結果等から教育支援活動の必要な学生の抽出し，どのような支援活動ができるか検討する．

【対象】

本学，鍼灸学部学生で過去3年間の経絡経穴学を履修し学生を対象に行う．

【方法】

これまで行った①アンケート調査および②入学試験の種別，③入学時基礎学力試験，④科目の成績評価，⑤国家試験の可否，科目得点等を分析し，学習意欲低下者や学習無気力者タイプ等の抽出し，学生の学修支援の方法等を検討する．

【結果】

入学時の基礎学力試験の結果の悪かった学生は，学習支援が必要となりうる学生の確率が高い傾向にあった．それに加え入学試験の種別によって試験形態との関係が認められた．